

スターハブ(STAR)

5G 通信ネットワーク拡張を基に、自動運転に係る政府目標「シンガポール・モビリティ2030」が追い風へ

シンガポール | 無線通信 | 業績フォロー

BLOOMBERG: STH | REUTERS STAR.S I

- 2020/12期3Q(7-9月)は、総収益が前年同期比14.5%減、通信サービスEBITDAが同14.1%減、純利益が同23.3%減の減収減益だった。
- 経済活動正常化「フェーズ2」実施や地域ICT事業セグメント追加もあり、3Qの前四半期比は8.0%増収、19.3%純利益増益と業績改善。
- 5G通信ネットワーク拡張を基に、2030年に向けた自動運転に係る政府目標「シンガポール・モビリティ2030」の追い風が期待される。

What is the news?

11/6発表の2020/12期3Q(7-9月)は、総収益が前年同期比14.5%減の4.89億SGD、機器販売を除いた通信サービスEBITDAが同14.1%減の1.31億SGD、通信サービスEBITDAマージンが同1.4%ポイント低下の33.7%、純利益が同23.3%減の4,450万SGD。ブロードバンドサービス、サイバーセキュリティ、および地域ICTの増収に加え、コスト管理を強化したものの、コロナ禍への対応に伴う海外渡航制限が続いたことがモバイル通信に響き減収減益だった。その一方、シンガポール政府による経済活動正常化に係る「フェーズ2」導入に伴い、前四半期では、総収益が8.0%増、通信サービスEBITDAが10.6%増、通信サービスEBITDAマージンが7.0%ポイント上昇、純利益が19.3%増と改善を示した。

セグメント別の売上高は以下の通り。①モバイル通信が前年同期比29.4%減の1.34億SGD、②ペイTVが同16.0%減の4,710万SGD、③ブロードバンドサービスが同5.5%増の4,550万SGD、④ネットワークソリューションズが同7.7%減の9,850万SGD、⑤サイバーセキュリティが同18.2%増の4,580万SGD、⑥今年7月末にマレーシアのストラテック社を買収したことに伴い追加された地域ICTが1,760万SGD。前四半期比ではブロードバンド、サイバーセキュリティのほかペイTVも増収だった。

How do we view this?

通期会社計画は、通信サービス収入が前期比10-12%の減収、通信サービスEBITDAマージンが27-29%(前期31.7%)、周波数帯域や5G関連およびITトランスフォーメーションを除く資本的支出が総収益の6-8%(同7.5%)と前回発表時と変わらず。既存LTEネットワークを活用しないスタンドアロン型の5G通信ネットワーク拡張に注力する方針だ。

コンシューマー向けでは、モバイル通信の新プラン導入により今年9月末で5G通信が国内総人口の7割以上のカバー率に達した勢いを維持することのほか、ペイTVを既存の有料TVチャンネルとネット配信のOTT(オーバー・ザ・トップ)を統合した「スターハブTVプラス」へ変革することが成長の原動力になると見られる。その一方、大企業向けでは、2030年に向けて自動車の自動運転に係る政府方針の「シンガポール・モビリティ2030」の追い風を受け、サイバーセキュリティのほか、クラウドサービスやデータ分析などに係る地域ICT事業の成長が見込まれる。

フィリップ証券株式会社

配当予想(SGD) **0.07** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **1.32** 2020/11/24

会社概要

1995年にケーブルテレビ事業で創業後、2000年に会社設立。通信、エンターテインメント、デジタルソリューションを提供するシンガポールの大手通信企業。モバイル通信や固定通信サービス、幅広いコンテンツや通信ソリューションを個人・企業向けに提供するほか、人工知能(AI)やサイバーセキュリティ、データ分析、IoT、ロボット工学などを組み込んだソリューション開発も行う。

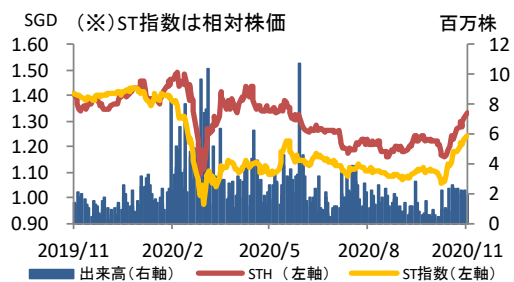
同社は、コンシューマー向けとして、①モバイル通信、②ペイTV(有料テレビチャンネル)、③ブロードバンドサービスを営むほか、エンタープライズ(大企業)向けとして、④ネットワークソリューションズ、⑤サイバーセキュリティ、⑥地域ICT(情報通信技術)の合計6つの事業セグメントを運営する。

サイバーセキュリティは、Ensign InfoSecurity社がシンガポール、マレーシア、香港でサービスを提供するほか、D'Crypt社があらゆる周波数帯域に対応したフルスペクトルの暗号化技術・製品を提供している。地域ICTは、2020年7月にマレーシアの大手ICT企業であるストラテック社を買収したことに伴い新たに追加された。

また、同社は持続可能で環境に配慮した経営を推進。SGXの「Sustainability Leaders Index」や「Sustainability Leaders Enhanced Index」の構成銘柄でもある。

企業データ(2020/11/25)

ベータ値	0.84
時価総額(百万SGD)	2,286
企業価値=EV(百万SGD)	3,520
3か月平均売買代金(百万SGD)	1.6



主要株主(2020/11)

1. テマセク・ホールディングス	55.78
2. 日本電信電話	9.90
3. ブラックロック	1.27

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

業績推移

※参考レート 1SGD=77.8円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万SGD)	2,410	2,362	2,330	2,032	2,154
当期利益(百万SGD)	272	201	186	153	148
EPS(SGD)	0.01	0.11	0.10	0.09	0.09
PER(倍)	132.00	12.00	13.20	14.67	14.67
BPS(SGD)	0.23	0.18	0.18	0.36	0.34
PBR(倍)	5.68	7.42	7.18	3.70	3.91
配当(SGD)	0.16	0.16	0.09	0.07	0.07
配当利回り(%)	12.12	12.12	6.82	5.30	5.30

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。